

# 緊急経済対策に対応した 臨時的人事配置について



世界的な経済大不況に見舞われた昨年来、国を挙げて緊急かつ大規模な経済対策が数度にわたり実施された。一時的とはいえ、各自治体にもカンフル剤注射が処方され、わが町でも補正予算を組んできたところである。

ここ数年の自治体は、市町村合併などの行財政改革が過度に行われている最中であり、職員減の状況においてもなおこれまで同様の人事配置の中では、こういった緊急対策を矢継ぎ早に取り組むことは、職員にとって大きな負担となるものと考ええる。

そのような状況では、折角の経済対策が対策渋滞を生み出し、地域住民や企業への効果も大渋滞を起こしかねない。残事業についての早期取り組みと民間的な発想に基づいた人事配置への考え方について、町長の

所見を伺う。

①スタッフ制、総係り制などこれまでの取り組みについて。

②多様な人材の確保という観点に立った組織機構のあり方について。

③緊急経済政策の下での官民「協働」の考え方について、専門性が高い部門での民間団体・人材との協力関係はどのようになっているか。

④今後（更なる自治体・経済対策が打ち出された場合）の対応について。

## 町長

①本町では、プロジェクト的な業務を担当することが多い企画室において、スタッフ制をとり、その他の部課では増大する業務量に対応するため、係員の人数が3人以上の大係り制によって、ひとつの係りにより多くの業務を幅広く担当すると共に、係員は

係り内の業務を熟知する体制が機能的かつ効率的ではないかと考えており、課・係り制の組織を基本としている。

②業務が忙しい場合、課内や部内の連携により対応しており、場合によっては部を超えた職員の協力体制を組んで人員確保を行い、今回の経済対策についても、事業効果を最大限に引き出すために最も重要なことだと考えから、他の部署に配置している専門的知識、技術を持った職員も協力して事務を進めるなど全町の人員を確保するために、役場組織内の連携を図ることを最優先に考えている。

このことから、現時点での組織機構の改革、人員配置の変更は考えていないのでご理解をいただきたい。

③経済対策については緊急性を要することから、設計業務においては委託費を計

上させていただき、専門的技術を持つ民間業者に委託し、設計を実施して早期に工事を発注したいと考えている。

④今回同様、組織を横断した全町的な協力体制を取ると共に、専門的技術を持つ業者の力を借りながら、町民や町内業者に経済効果が最大限生かされ、地域経済

の活性化が更に進められるよう、迅速な事務処理を心がけていきたいと考えている。



スタッフ制をとっている企画室